

小池ゆうや 後援会事務所

〒362-0035 埼玉県上尾市仲町 1-10-3
TEL. 048-671-7789 FAX. 048-672-8579
yuyakoik@gmail.com

政策の詳細をインターネットで
確認することもできます。

小池ゆうや



活動レポート 21

小池ゆうや

上尾市議会議員



YUYA KOIKE, Ageo City Councilor Report 2026.04

県内の若手経営者研修会にて登壇!
2月27日、上尾商工会議所青年部にて
県内若手経営者向けの研修会を開催。小池
は「人事DX」をテーマに、人的資本経営
を促進するためのトレンドマネジメントに関
するセミナーを企画しました。



**「ながら」視聴
が可能!**



AI音声解説

**特集 データで見る! 令和8年度上尾市一般会予算
Pickup!! 徹底解説! R8注目事業と小池の政策との整合性**

小池ゆうやの SNS公式アカウント

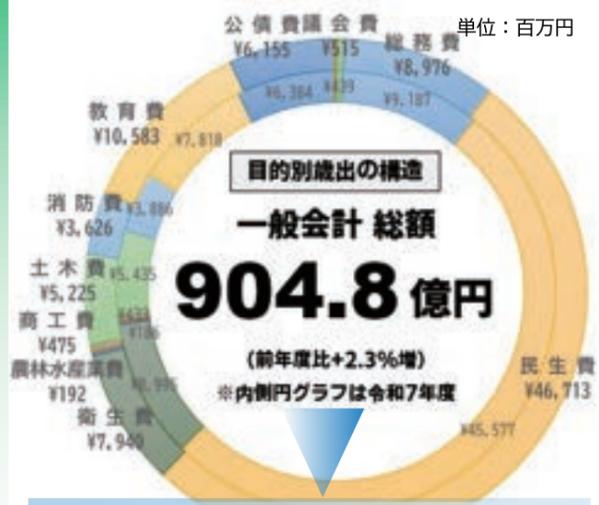
SNSでも日々の活動発信中!

facebook instagram X (旧Twitter) LINE

小池ゆうや後援会では、
入会いただける方を募集しています。

本会は、小池ゆうやの政治活動を後援することにより、
上尾市政の発展と上尾市民生活の向上を図ることを目的とします。
また本会は、会費または、寄附金及び補助金で運営されます。

趣旨にご賛同いただけましたら、
「小池ゆうや後援会事務所」までお問合せ下さい。



一般会計予算は過去最大を更新
R8予算は前年度比2.3%増の904.8億円。社会保障関連費が含まれる扶助費は増加を続けるものの、毎年10%前後肥大化していた予算に落ち着きが見られています。

歳入をみると、H21で60%だった予算全体に占める市税収入の割合は40%を下回り、引き続き市の裁量で活用できる財



データで見る 令和8年度一般会計予算

最適化が進み、チャレンジが垣間見える予算編成



源は減少傾向であることに変化はありません。にも関わらず、R8は例年と比較しても新規・拡充された事業も多く見られていることから、小池としては兼ねてより提言していた未来への投資と課題への対策(攻めと守り)が両立したバランスのとれた予算編成であると評価しています。

教育費・商工費が顕著に増加
教育費増加の主要因は、学校施設の更新の本格化(R7の3倍)ですが、保育・教育部局が連携した居場所づくりや不登校対策支援も強化されています。

給食費の小学校無償化・中学校半額助成も開始され、子育て世帯の負担軽減につながる一方、賄材料費で1.2億円増となったとあり、給食の安全や質の維持と事業の持続性の兼ね合いを今後チェックする必要があります。

商工費は金額的には大幅増ではないものの、企業立地ニーズ調査や人の動きのデータ分析など小池が求めてきた各種施策が予算化され、その動向に期待が持てる内容となっています。

直近数年間の歳入推移で特長なのが「市税割合」の縮小です。その主要因は用途が決められた財源(特定財源)の増によるものです。国や県からの支出金の割合はR5対比で5%程度拡大しており、国や県の方針がそのまま事業化する傾向が強くなっています。これは決して悪いことではありませんが、独自施策を打ちにくくなることで、市の特色を出しにくい構造になっていることの裏返しでもあります。

各種施設の更新や道路網の整備・上尾伊奈の新環境センター整備などの社会インフラに関わる事業を控える中、依存せざるを得ない状況となっていることは仕方ないと言える一方、今後は「国や県からいかに財源を引っ張ってこれるか」本市の力量が試される時期がやってくるのが予想できます。これは行政のみならず、国政与党の市議・県議のネットワークも重要性を増すというところであり、2027年春の統一地方選や同年冬の市議選における自民党議員の踏ん張りが必要と見えます。こうした局面において私自身も自民党公認の議員として、地元のさらなる発展に貢献できるよう、持てる力を引き続き発揮してまいります。



国庫支出金がR5対比で拡大

直近数年間の歳入推移で特長なのが「市税割合」の縮小です。その主要因は用途が決められた財源(特定財源)の増によるものです。国や県からの支出金の割合はR5対比で5%程度拡大しており、国や県の方針がそのまま事業化する傾向が強くなっています。これは決して悪いことではありませんが、独自施策を打ちにくくなることで、市の特色を出しにくい構造になっていることの裏返しでもあります。

各種施設の更新や道路網の整備・上尾伊奈の新環境センター整備などの社会インフラに関わる事業を控える中、依存せざるを得ない状況となっていることは仕方ないと言える一方、今後は「国や県からいかに財源を引っ張ってこれるか」本市の力量が試される時期がやってくるのが予想できます。これは行政のみならず、国政与党の市議・県議のネットワークも重要性を増すというところであり、2027年春の統一地方選や同年冬の市議選における自民党議員の踏ん張りが必要と見えます。こうした局面において私自身も自民党公認の議員として、地元のさらなる発展に貢献できるよう、持てる力を引き続き発揮してまいります。

直近数年間の歳入推移で特長なのが「市税割合」の縮小です。その主要因は用途が決められた財源(特定財源)の増によるものです。国や県からの支出金の割合はR5対比で5%程度拡大しており、国や県の方針がそのまま事業化する傾向が強くなっています。これは決して悪いことではありませんが、独自施策を打ちにくくなることで、市の特色を出しにくい構造になっていることの裏返しでもあります。

各種施設の更新や道路網の整備・上尾伊奈の新環境センター整備などの社会インフラに関わる事業を控える中、依存せざるを得ない状況となっていることは仕方ないと言える一方、今後は「国や県からいかに財源を引っ張ってこれるか」本市の力量が試される時期がやってくるのが予想できます。これは行政のみならず、国政与党の市議・県議のネットワークも重要性を増すというところであり、2027年春の統一地方選や同年冬の市議選における自民党議員の踏ん張りが必要と見えます。こうした局面において私自身も自民党公認の議員として、地元のさらなる発展に貢献できるよう、持てる力を引き続き発揮してまいります。

直近数年間の歳入推移で特長なのが「市税割合」の縮小です。その主要因は用途が決められた財源(特定財源)の増によるものです。国や県からの支出金の割合はR5対比で5%程度拡大しており、国や県の方針がそのまま事業化する傾向が強くなっています。これは決して悪いことではありませんが、独自施策を打ちにくくなることで、市の特色を出しにくい構造になっていることの裏返しでもあります。

各種施設の更新や道路網の整備・上尾伊奈の新環境センター整備などの社会インフラに関わる事業を控える中、依存せざるを得ない状況となっていることは仕方ないと言える一方、今後は「国や県からいかに財源を引っ張ってこれるか」本市の力量が試される時期がやってくるのが予想できます。これは行政のみならず、国政与党の市議・県議のネットワークも重要性を増すというところであり、2027年春の統一地方選や同年冬の市議選における自民党議員の踏ん張りが必要と見えます。こうした局面において私自身も自民党公認の議員として、地元のさらなる発展に貢献できるよう、持てる力を引き続き発揮してまいります。



小池が注目している指標に「基金の推移」があります。本市は毎年財源不足が続いていることから基金(市の貯金)を毎年取り崩して事業の財源にあてており、この取り崩し額が毎年増額していたことが懸念点でした。

しかし、R8はR7対比で取り崩し額が10億円圧縮されています。新規・拡充が図られた事業が多くある一方、補填額が縮小したということは、予算全体で最適化が進んだと言えることから、小池はR8の予算組みを高く評価しています。市民の皆さまが安定的に質の高い市民サービスを受け続けられるよう、持続性のために、財政運営の持続性を維持することが必須条件です。引き続き支出額が歳入額を上回る状況が続くと予想されますが、この4年間で要望してきた小池の政策が形になってきていることに加え、市内全体で行財政運営に関する問題意識の統一が進んでいるように感じています。R8以降もこの意識を行政が継続して持ち続けられるよう、引き続き予算・決算の緻密な審査と適切な評価に努めてまいります。

小池が注目している指標に「基金の推移」があります。本市は毎年財源不足が続いていることから基金(市の貯金)を毎年取り崩して事業の財源にあてており、この取り崩し額が毎年増額していたことが懸念点でした。

しかし、R8はR7対比で取り崩し額が10億円圧縮されています。新規・拡充が図られた事業が多くある一方、補填額が縮小したということは、予算全体で最適化が進んだと言えることから、小池はR8の予算組みを高く評価しています。市民の皆さまが安定的に質の高い市民サービスを受け続けられるよう、持続性のために、財政運営の持続性を維持することが必須条件です。引き続き支出額が歳入額を上回る状況が続くと予想されますが、この4年間で要望してきた小池の政策が形になってきていることに加え、市内全体で行財政運営に関する問題意識の統一が進んでいるように感じています。R8以降もこの意識を行政が継続して持ち続けられるよう、引き続き予算・決算の緻密な審査と適切な評価に努めてまいります。

小池が注目している指標に「基金の推移」があります。本市は毎年財源不足が続いていることから基金(市の貯金)を毎年取り崩して事業の財源にあてており、この取り崩し額が毎年増額していたことが懸念点でした。

しかし、R8はR7対比で取り崩し額が10億円圧縮されています。新規・拡充が図られた事業が多くある一方、補填額が縮小したということは、予算全体で最適化が進んだと言えることから、小池はR8の予算組みを高く評価しています。市民の皆さまが安定的に質の高い市民サービスを受け続けられるよう、持続性のために、財政運営の持続性を維持することが必須条件です。引き続き支出額が歳入額を上回る状況が続くと予想されますが、この4年間で要望してきた小池の政策が形になってきていることに加え、市内全体で行財政運営に関する問題意識の統一が進んでいるように感じています。R8以降もこの意識を行政が継続して持ち続けられるよう、引き続き予算・決算の緻密な審査と適切な評価に努めてまいります。

未来への「投資」と課題への「対策」が両立する予算編成が実現

令和8年度に反映された主な取り組みと、小池ゆうやの掲げる政策のマッチ度を可視化しました。

徹底解説！令和8年度予算

小池ゆうやの視点

引き続き各施策の実行状況と効果のチェックに努めてまいります。

【こども・教育】未来への投資(コア政策)



★★★★★
マッチ度:★★★★★

- 小学校給食費の無償化 (国施策)
- 中学校給食費の半額支援 (市費活用)
- 不登校対策 (支援ルーム体制拡充)
- 上尾小での朝の居場所づくりモデル事業
- 地域子育て相談期間の強化



小池ゆうやが最重要視する「未来への投資」が色濃く反映された内容となっていると評価。

本項目における小池の視点

【健康・高齢者】守り+予防



★★★★☆
マッチ度:★★★★☆

- 加齢性難聴対策として補聴器購入費助成
- AIを活用した健康アプリ「あげお健康+」の拡充
- 認知症俳諧高齢者への見守りシール交付



健康寿命の延伸と弱者に寄り添う「守り」の施策が着実に進展していると評価。

本項目における小池の視点

【まちづくり・経済】攻めの投資



★★★★☆
マッチ度:★★★★☆

- モンシェリー通りでの「ほこみち制度」活用によるにぎわい創出とデータ活用
- シティプロモーション強化とHP改修
- 上尾駅への農産物自動販売機の設置



市の魅力を高め、稼ぐ力を育てるための「攻め」の姿勢が見られる点を評価。

本項目における小池の視点

【防災・安全】暮らしを守る



★★★★☆
マッチ度:★★★★☆

- 地域防災リーダーを育てる「防災士」養成講座の継続
- 家庭や自治会への防犯対策(カメラ設置など)への補助金新設
- 内水ハザードマップの策定と全戸配布



災害や犯罪から市民の命と財産を守るための具体的で実効性の高い施策と評価。

本項目における小池の視点

総合政策マッチ度

“攻め(未来への投資)”と“守り(市民の安心)”が高度に両立した予算編成となっています。

新規・拡大した注目事業一覧



— ちらしをシェア —